

② 通信障害解消のための移動 基地局車の設置訓練

携帯電話等の通信障害を解消するため、移動型の基地局車を設置し、通信復旧の訓練を行いました。



③ 断水地域での屋内退避を 想定した給水訓練

断水地域での屋内退避を想定し、給水車による応急給水の活動訓練を行いました。



④ 代替避難先への避難訓練

地震災害によりあらかじめ設定していた避難所が使用できなくなった場合を想定し、代わりの避難先への避難を行いました。



※原子力防災・避難施設等調整システムを活用

⑤ 航空機モニタリングの実施

モニタリングポストの欠測を想定し、自衛隊ヘリコプターによる放射線モニタリングやドローン等による無人航空機モニタリング訓練を行いました。



その他

- 安定ヨウ素剤の緊急配布、国家備蓄安定ヨウ素剤の輸送
- 家屋倒壊を想定した公共施設での屋内退避
- 避難所への備蓄物資の搬送
- 保育園・幼稚園・学校との情報連絡・保護者への引渡し訓練



などを実施しました。

原子力防災アプリを活用した訓練も実施

- 一時集合場所、避難所での受付登録



- 避難退域時検査場所での受付登録



- 安定ヨウ素剤の配布状況の登録



もしもの時に〜♪



もしものに備え
今すぐダウンロード

Android版



iPhone版



訓練を振り返って

住民からの主な意見

- 船舶による避難は初めてだった。様々な避難の方法を考えておくことは大切だと思った。
- 家族や自治会で協力し、助け合って避難できるようにしたい。

関係機関からの主な意見

- 国や県、関係市町において、テレビ会議等により情報共有がよく図られており、要員自ら率先して情報を収集する姿勢が見られた。
- 原子力災害時住民避難支援・円滑化システムの画面表示が分かりづらく、使いやすくなるよう改善してもらいたい。

県原子力専門委員会の委員からの主な意見

- 能登半島地震の教訓が非常に生かされた訓練になっている。
- 無人航空機を使ってモニタリングの欠測を補うといった、新技術が訓練に取り入れられており、毎年度、訓練が充実してきている。

今回の訓練の実施結果については、国の実施成果報告や県訓練に対する外部評価、参加した関係機関及び県専門委員会の意見等を踏まえるなどして、課題等を整理し、今後の計画の見直しや訓練に生かしてまいります。